



秋厚労ニュース

NO1753号

2017年3月30日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

米内沢労組解散

46年の歴史に幕

去る3月27日、公立米内沢総合病院労働組合の解散大会が行われ、26人（うち秋厚労2人）が参加しました。労働組合としての46年間の歴史に幕を閉じ、関係者それぞれが気持ち新たに生きる決意を固める大会になりました。

米内沢病院と労働組合の主な経緯

1885(M18). 8.28	公立大館病院米内沢分院として開院
1889(M22). 1. 1	北秋田郡公立病院米内沢分院となる
1889(M22). 9	5ヶ村組合米内沢病院となる
1964(S39). 9	3ヶ町村病院組合公立米内沢総合病院となる
1972(S47).11.18	公立米内沢総合病院労働組合結成大会
1979(S54).12.10	病院新築
1997(H 9).	病院組合議会で統合計画
2001(H13). 4.27	病院統合・町村合併公約の岸部氏が鷹巣町長に
2001(H13).10.20	臨時病院議会で「3病院の統合実現を促進」決議
2005(H17). 3.22	鷹巣町・合川町・森吉町・阿仁町が合併
2005(H17). 9. 1	北秋田市医療整備基本構想
2008(H20). 3	病院退職勧奨(44人)
2009(H21). 6	地域の医療を守る住民の会設立総会
2010(H22). 4. 1	北秋田市民病院開院
2010(H22). 8	分限免職差し止め訴訟提訴
2011(H23). 3.11	分限免職差し止め訴訟判決(敗訴)
2011(H23). 3.31	公立米内沢総合病院閉鎖、診療所に
2011(H23). 4. 1	地位確認等損害賠償訴訟提訴
2015(H27).10.28	地位確認等損害賠償訴訟判決(市に賠償責任)
2017(H29). 3.27	公立米内沢総合病院労働組合解散大会

やっぱり病院は地域住民のよき友人

公立米内沢総合病院のルーツは1885年(明治18年)にまで遡ります。126年を経て、2010年、北秋田市民病院に統合。その翌年には病院を閉鎖して診療所に姿を変えました。米内沢病院の設立主体は、北秋田市と上小阿仁村からなる「病院組合」で、最高責任者は市長です。病院の統合を決めた岸部市長も、後任の津谷市長も、「旧米内沢病院職員は、北秋田市民病院などに再配置し、雇用を継続する」旨を書面で約束していました。しか

判決は市の責任明示

明らか「約束違反」に對して、職員35人が裁判所に訴えを起こしました。病院はなくなりませんが、組織としての「公立米内沢総合病院労働組合」を継続させ、原告団を応援する体制

組合員が解散の可否投票

3月27日に行われた「公立米内沢総合病院労働組合・第46回定期大会

(解散大会)には、応援した人たちも駆けつけ、全体で26人が参加しました。

経過報告・会計報告に続き、同労組規約に基づいて、組合員が解散の可否について1人1票の投票を実施。組合員10人のうち参加した8人が同意し、正式に解散が決まりました。これをふまえて、執行委員長が「解散宣言」。同労組は、46年間の歴史に幕を閉じました。

失意の中で病院の灯

秋田地方裁判所が「解雇を是」とする判決を言い渡したのは2011年3月1



米内沢病院労働組合の解散大会(2017. 3. 27)

1日。つまり東日本大震災の日でした。暗闇の法廷で信じられないような判決を聞き、失意で戻った公立米内沢総合病院。そこだけが自家発電で光を保ち、近隣の住民もその明かりを頼りに病院に避難していました。解散大会終了後の懇親会では、参加した内外の人が1人ずつ思いを述べました。そのとき、多くの人がこのエピソードに触れ、「やっぱり病院は地域住民のよりどころ」だと述べていました。関係者一同、このような思いを共有して、気持ち新たに生きる決意を固める機会になりました。